

# SEIRYO サイエンスカフェ <障害>

「サイエンスカフェ」とは、専門家や一般の人々がカフェの雰囲気の中で、科学や専門分野について気軽に語り合う場のことです。本学では、教員の専門性を活かしたテーマで開催しております。

第22回目のキーワードは<障害>です。障害は個人の問題ではなく、社会の仕組みや環境によって生み出されるという考え方を「障害の社会モデル」といいます。そして、このような「障害」を解消する取り組みの一つが「合理的配慮」です。さて、「わたし」は社会から配慮されているのでしょうか？誰もが暮らしやすい社会をつくるためにできることは何かを考えてみませんか。

※参加者同士のお話しがメインのイベントです。

## 【第22回テーマ】

### 「合理的」な「配慮」って何? ～社会モデルで「障害」を考える～

話題提供者：圓山 里子（新潟青陵大学大学 福祉心理子ども学部）  
社会福祉学科 助教



専門は、「社会福祉学」「障害学」「障害者福祉」「自立生活」「地域生活支援」「セルフヘルプグループ」などのような障害があろうとも、自らが望む地域での暮らしを実現するために必要な仕組みや方法を検討することを研究テーマにし、取り組んでいる。

サイエンス  
カフェの流れ



教員からの  
話題提供

約15分

飲み物を飲みながら  
グループでおはなし

約30分

共有＆まとめ

約15分

日時 2026年3月14日(土)  
14:15～15:15(受付13:45～)

参加費 500円  
(飲み物をご用意します)

会場 新潟日報メディアシップ1階 みなと広場

定員 20名(先着)

申込み 3月13日(金)12:00までにPeatix  
もしくはメール・電話にてお申込みください

  
Peatixでの  
お申込みには  
無料登録が必要です

- ◆3月9日(月)時点でお申込者が最少実施人数に満たない場合には、開催を中止する場合がございます。お早めにお申込みください。
- ◆受講証の発送はございません。当日、お時間までに会場へお越しください。

学校法人新潟青陵学園 社会連携センター

✉ ex@n-seiryo.ac.jp / ☎ 025-368-7053  
(受付時間 月～金 9:00～17:00 祝・休業日は除く)

